

平成30年度社会教育施設アクションプラン(重点施策別評価)

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめ、市民要望に的確に応えて市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-1 図書館資料の充実	予算の適正な執行により、資料の刷新を図り、市民満足度を高め、資料蔵書数60万点、年間貸出点数90万点達成を目指す	1 蔵書資料点数の充実	資料蔵書数	575,000点	574,964点	99.99%	4	目標値には達しないものの、蔵書資料点数の充実は図れたことから4とした	現状を維持していく	4.0	(意見はありませんでした)
		2 貸出点数の増加	貸出点数	860,000点	855,095点	99.43%	4	目標値には達しないものの、貸出点数の増加は図れたことから4とした	現状を維持していく	4.1	1-1資料の充実 8企業スポンサー以外は充実されています しかし、図書館といえば、資料の活用、貸出しが主と思われ 多く活用されることを願います
		3 子どもの読書推進のための児童書や、調べ学習に使える児童向け図書を購入	年間購入数	2,635点	2,933点	111.31%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができたことから5とした	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		4 郷土資料・行政資料の充実を図る	年間収集数	500点	700点	140.00%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができたことから5とした	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		5 市民ニーズに応じて、健康・職業・経済に関する図書や文学(小説)、大人向け紙芝居など一般向け図書を購入	年間購入数	6,520点	7,435点	114.03%	5	例年どおり幅広いジャンルで購入し、受入れができたことから5とした	現状を維持していく	5.0	幅広く購入できているため
		6 各種調査研究のための参考図書を購入	年間購入数	175点	296点	169.14%	5	例年どおり、毎月、毎年発行されている資料は、購入及び寄贈により受入れできたことから5とした	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		7 視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本を購入	年間購入数	110点	111点	100.91%	5	例年どおり、出版されているものは全て購入できたため5とした	現状を維持していく	5.0	出版されている全て購入されているため

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後 の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-1 図書館資料の充実	予算の適正な執行により、資料の刷新を図り、市民満足度を高め、資料蔵書数60万点、年間貸出点数90万点達成を目指す	8 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	34種	21種	61.76%	4	目標数には達しなかったが、新たに制度化できたことから4とした	今までの協賛企業全てから新制度による寄贈申込みが確保できなかったため、今後イベントなど色々な機会を利用して、制度の広報を行いたい	3.9	企業スポンサーによる雑誌の受入れが減少しているように思う 今後何か対策を考えていかないといけないと思う 新たな制度化は評価に値するが、制度の広報が伴っていないように見受けられるので3と評価します
		9 在住外国人の生活支援のための外国語資料の収集	総蔵書数	2,050点	2,016点	98.34%	4	点数は少ないが購入できたことから4とした	現状を維持していく	4.0	在住外国人にとってはとても有難いので増えると良い
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	レファレンスサービスの充実のため、職員の研修への積極的な参加を促す	1 人事異動等によって司書資格職員数を増やす	司書職員数	30人	35人	116.67%	5	本館では司書資格者1名の採用及び司書資格取得1名ができました 西武分館では司書資格者を4名増加できました 藤沢分館では新規採用により司書資格者を3名増加できました	現状を維持していく	5.0	資格職員が増えているため
		2 レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	1回	1回	100.00%	5	県内の図書館職員とともに課題に取り組み、レファレンスに関する知識を得ることができたため	検索システムで課題解決をしまい、他のレファレンス資料を活用しなかった また、館内のレファレンス資料で情報の古いものは新しくしたい	5.0	県・地区等で研修会1回は少ないかもしれない
		3 高齢者、障害者の読書推進のため、録音資料を作成	録音資料作成点数	3点	4点	133.33%	5	利用者との電話でのコミュニケーションを重ね、全国の図書館等に所蔵の無い録音図書を作成、提供することができた また、全て11月までに依頼することができたため、ボランティアグループが作成にあてる時間を十分に確保することができたため	一人の利用者からしか作成の希望を聞き出せなかったため、録音図書を読まれている方々とのコミュニケーションをより頻繁に行っていくことで、他の利用者からも作成の希望を聞き出していきたい	4.9	目標値が低いのと一般的な周知がされてない様に思ったため 全国の図書館等に所蔵の無い物を作成できたのは嬉しいことです 他の利用者からも依頼がある様になると良い

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価			
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後 の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題		
1-2	魅力ある図書館づくりの推進	図書館ボランティアの育成に努め、その活動の場を提供し、活動を支援する	4	ボランティアの活動の場である「おはなし会」を全館で開催	おはなし会回数	350回	367回	104.86%	5	<p>今年度から第三火曜日の午前中に赤ちゃん向けのおはなし会を始めたことにより、回数・参加者が増えたので5とした(本館)</p> <p>毎週水曜、土曜の2回開催しており、ボランティア団体と協力して順調に運営している</p> <p>参加人数が少ないときがあるが、回数は94回と昨年より18回増のため5の評価した(西武分館)</p> <p>おはなし会回数は前年度並みだが、参加者が2割アップし、子育てサークル(あいくる、くまさんサークル)へも毎週出張おはなし会を開催できたので、5の評価とした(金子分館)</p> <p>おはなし会はボランティアグループとトロとの連携も引き続きできており、またリピーターも増加しているため、5の評価とした(藤沢分館)</p>	<p>休日の参加者が少ない</p> <p>また、おはなし会の時間(午後2時)に来館者が少ない傾向にあるので、おはなし会の最後に次回予告チラシを配付するなどし、更なるPRに努めたい(本館)</p> <p>毎週水曜日・土曜日のおはなし会が極端に参加人数が少ないときがあったため、かざぐるまさんと相談し、平成31年4月より開催時間を30分早め10時30分からに変更する(西武分館)</p> <p>第三木曜日午前中の集客がおもわしくなく、参加者がゼロの会が全体の6割に上るので、公民館を利用している子育て支援サークルとの連携の中で幅広い展開をしたい(金子分館)</p> <p>第一土曜日の参加者数が比較的少ないが、第三土曜日はおはなし会後に実施している工作会が参加者に浸透して効果を上げて来ているので(計10回176人)、それに準じた新たな企画を考え、ボランティアグループと相談しながら参加者増加に繋げていきたい(藤沢分館)</p>	5.0	<p>おはなし会を全館で開催し、多くの親子が参加傾向にある努力の成果だと思う配本所でも年に1・2回開催を検討していただきたい</p> <p>各ボランティアグループの方が懸命に取り組んでいる様子がわかります</p>

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	図書館ボランティアの育成に努め、その活動の場を提供し、活動を支援する	5 利用促進のため「おたのしみ会」を開催	おたのしみ会回数	5回	7回	140.00%	5	「冬のおたのしみ会」を1回実施できたので5とした 内容は昨年度の反省から、原作本や冬に読みたい絵本を紹介することにより、本と親しめるよう工夫した(本館) 以前は冬のお楽しみ会の1回だけだったが、今年は夏休みにちよつとこわいおはなし会を開催した また、冬は視聴覚室を活用して実施できたので5の評価とした(西武分館)	産業文化センター改修のため、2019年度は第1集會室(和室)で行う予定 例年は研修室であり、場所が違うため和室に合った演出及びPRに努めたい(本館) おたのしみ会は、保育所・学童・母子愛育等との連携を図りながら日程調整を行いたい(金子分館)	5.0	冬のおたのしみ会は全館で実施しています 各館の主なプログラムを後日演じて共有し、反省をし、次回に生かす様努力しています
		6 研修会(ボランティア研修会)の実施	研修会開催回数	1回	1回	100.00%	5	研修会として、読み聞かせボランティアを対象に、保育と人形の会の高千鶴子氏を講師に実施した 手袋人形や絵本の読み聞かせについて勉強し、おはなし会で使えるノウハウを学べたので5とした	今年度は、読み聞かせボランティアを対象に実施したが、今後は、他のボランティアでも実施できるよう計画していきたい	5.0	読み聞かせボランティア以外のボランティアもほしいという話であったが、具体的なボランティア募集計画を立てなければ進んでいかない 毎年研修会を実施し、参加率も高いので続けてほしい
	利用促進につながる各種事業を実施し、分館においては民間のノウハウを活用する	7 子どもたちを対象とした「プチー日図書館員」を実施(本館)	参加者数	96人	94人	97.92%	5	募集人数96人のところ、定員一杯の申し込みがあったため5とした(当日欠席があったため、人数は94人) 昨年度までは1週間に8回行っていたが、今年度は2週に分けて行ったところ、職員も準備等余裕を持つて行うことができた(本館)	現状を維持していく	5.0	一日図書館員も全館で実施傾向にあり、参加も多く、とてもよいと思う 特に夏の期間は前期・後期に分けて実施するのはどうか 一人でも多くの人に体験していただきたい 子供たちの意欲満々の姿は頼もしい 続けてほしい
		8 利用促進事業として「人形劇」を開催	参加者数	80人	42人	52.50%	3	今年度は金子分館を会場に実施した 目標人数に達しなかったため3としたが、親子で楽しめる演目を行えたことは良かった	参加人数が少なかったことについては、PR不足もあるかもしれないので、今後ともPRに努めたい	3.1	利用促進事業として開催ができたことから4とした 目標人数に達しなかったため、開催の広報等の機会を増やしていただければと思う 年一回の人形劇は周知不足かと思う 「大人もどうぞ」とPRしてほしい
		9 子ども読書推進のため「読書ラリー」を実施	修了者数	300人	330人	110.00%	5	「読書ビンゴ」の形式にし複数のプレゼントを用意したところ、小学生以外にも幼児や高校生、大人まで参加があり、参加者が増えたため5とした	子どもの読書推進を目的としているので、小学生だけでなく、幼児や中高生を対象に実施することを検討したい	4.9	幼児、高校生、大人の参加があったのはとても良い 続いてほしい

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後 の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	利用促進につながる 各種事業を実施し、分館 においては民間のノ ウハウを活用する	10 利用促進のため文学 講演会を開催	参加者数	100人	84人	84.00%	5	今年度は日程の都合上、 会場を西武分館に実施した 募集人数100名のところ、 数日間で定員一杯になった ため5とした(当日欠席が あったため人数は84人) アンケートの結果も好評で あった	事前申し込みの段階で定 員一杯(105名)になったの で締め切ったところ、当日の 欠席が思ったより多かった 今後は、やむを得ない事 情以外は、キャンセルされ ないよう周知に努めたい また、絵本作家だけでなく、 様々な児童文学に関わ る講師の講演会も検討し たい	5.0	文学講演会も好評のよう で、すぐに応募数に達して いるようです 予算的なこともあるでしょ うが、可能なら年2回位実施 はどうか 会場の都合で定員100名 なので申し込みなかった人 が多かった様子でした 当日キャンセル多数、対 処を望みます 申込者にキャンセルが生 じたら必ず連絡をお願いす る キャンセル待ちを受け、順 次充てていく方法もあるの では
		11 利用促進のため分館 3館で自主事業を開催	実施事業数	50事業	47事業	94.00%	5	毎月必ず自主事業を開催 しているので5の評価した (西武分館) 新規自主事業として、博物 館との協力事業、金子地区 衛生自治会との共催事業、 金子のこいのぼりを実施し、 5の評価とした(金子分館) 昨年度まで実施が少な かった一般向け事業(本の 修理講座、お片付け講座 等)を増やし好評を得たこ と、図書館利用の少なかつ た方の参加も多い傾向に あり、利用増加への期待が 持てる結果となったので、5 の評価とした(藤沢分館)	自主事業は、自然豊かな 金子の地域を活かした自然 教育や生物多様性を踏ま えた自然保護に関する事業 の展開を図りたい(金子分館) 今後、講師を招いての事 業にも積極的に取り組み、 利用者の新たな興味を引き 出し貸出数増加に繋がるよ うに努めたい(藤沢分館)	5.0	小物作りの自主事業か ら、衛生自治会との共催 まで幅広い事業 ますます増えると良い
	本館、西武分館、藤 沢分館の夜間開放事業を 継続する	12 本館、西武分館、藤 沢分館の夜間(17時～ 20時)入館者数平均	夜間入館者数	400人	423人	105.75%	5	目標値をクリアし夜間入 館者数の増加が図れたため5 とした	現状を維持していく	5.0	多くの人が利用されてい るため
		13 本館閲覧夜間開放 事業(20:00～21:30)に よる利用者数平均	利用席数	20席	16席	80.00%	3	一定数の利用者はいるも の、一日平均で3席減少 しているため3とした	本館閲覧室は自習の利用 者が中心で、図書館資料の 閲覧が多くないものと見 受けられる	3.2	本館の閲覧夜間開放事 業ができたことで4とした 一日平均3席減少は帰宅 時の交通、治安等を考える といたしかたない 閉館後の1時間30分を16 席のために開放は如何なも のか

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)		評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	本館、西武分館、藤沢分館の夜間開館時の利用促進に努め、本館の閲覧席開放事業を継続する	14	入館者数の増	年間入館者数	700,000人	703,586人	100.51%	4	本館・西武分館の入館者数は減少傾向にあるものの、金子分館・藤沢分館は増加し、全体的には前年度比で増加したため4とした	利用促進事業や図書館PRの充実により、現状の入館者の維持を図る	4.1	(意見はありませんでした)
	視聴覚ライブラリーの活用	15	視聴覚ライブラリーを活用し映画会を開催	年間上映回数	28回	24回	85.71%	3	毎月2回は確実に実施しているが、上映中断もあったので3の評価とした 2ヶ月に1回は邦画を入れている(西武分館)	ウィークエンドシネマ上映の際、放映機器の不具合が発生したことがあり、放映機器の検証を早期に実施したい(西武分館)	3.4	毎月2回は確実に実施できた 上映中断があったので4の評価とした 放映機器の点検、場合によっては更新も必要かと考える 映画会を楽しみにしている人は多い 視聴覚ライブラリーをこれだけ活用しているので、4と評価する 月2回の映画会を楽しみにしている市民が多いと思う
	地域情報の収集、提供の他、ホームページによる図書館情報の迅速かつ正確な提供を行う	16	図書館ホームページのメンテナンスを実施	メンテナンス実施回数	12回	10回	83.33%	4	実施が遅れることはあったが、毎月1回システム担当による各ページのチェックを行い、情報の刷新を図った チェック箇所も随時追加しているため評価は4とした	更新の必要がある箇所を発見しても、修正が遅れてしまったことがあったので、チェック項目の再確認をしたい	4.1	(意見はありませんでした)
		17	パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	3,000人	4,764人	158.80%	5	昨年度と同様にパスワード登録者数が増加し、目標値に達したため5とした	パスワードを登録するメリットとともに、図書館ホームページや館内OPACから手軽に登録できることをPRしていく	5.0	(意見はありませんでした)
	各種メディアや広報紙等を活用し、図書館情報の発信や事業の実施状況を発信する	18	「広報いるま」の毎月1日号に図書館関連記事を掲載	年間掲載月数	12回	12回	100.00%	5	計画通りに毎月記事を掲載することができたため	掲載を予定していたイベントの申し込み日が月の初めだったため、広報の配布日程を考慮した結果、掲載できなくなったイベントがあったため、予めイベントの申し込み日を考慮し、掲載月を調整したい	5.0	広報いるまを市民によく読んでほしい
19		「広報いるま」に図書館関連の特集記事を年1回以上掲載	年間掲載回数	1回	1回	100.00%	5	特集記事で、余り周知されていない図書館の利用法についての案内ができたため	記事を見やすくするための写真や画像を用意しなかったため、普段から特集記事用に準備して置きたい	5.0	広報いるまを市民によく読んでほしい	

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後 の方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	各種メディアや広報紙等 等を活用し、図書館情報の 発信や事業の実施状況を 発信する	20 図書館だよりの発行	年間発行回数	4回	4回	100.00%	5	計画通りに発行できたため5とした 見やすいようにレイアウトを工夫したり、読書アルバムの紹介や図書館でのイベントの案内などを掲載して、親しみやすいようにした	全館分の記事を本館で編集するため、記事を集約するのに時間が掛かるが、より内容の充実に努めたい	5.0	図書館だよりは内容も充実していて、とても参考になり、たのしく拝見しています 図書館、配本所に足を運ばなければ目にする事がありません 広く知っていただく方法、工夫も課題 図書館だよりを手にする機会が少ない市民が多いと感じます 案内が沢山あるのに、もったいない BOOKガイドの本は掲載された時点では、読むことができないときがある
		21 金子分館だよりの発行	年間発行回数	12回	12回	100.00%	5	金子小学校の図書委員おすすめ本を毎号紹介していること、また金子小学校や学童・保育所向けに「わくわく分館だよりの新刊」を発行したので5とした(金子分館)	金子分館だよりは全戸配布(2,700部)と金子小学校・中学校、第一・第二保育所、第一・第二学童、金子支所への配布で計2,900部発行で維持する ただし、自治会加入率は約70%と低下傾向にあることが懸念される(金子分館)	5.0	今年度の4・5・6月号を読ませていただきました お知らせ・展示・新刊案内、金子小学校図書委員・教員のおすすめ本など、すぐに読みたい本が書かれていて素晴らしいと思いました
		22 コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	50回	50回	100.00%	4	市役所(本庁)でも放送が流されたので図書館外の方の意見を聞きやすくなった イベントや展示本の告知もはっきり行うことができた(本館) 1ヶ月1回程度で出演しており、常勤社員全員が担当しているので5の評価とした(西武分館) FM茶室への出演はこれまでと同様に行っているが、一部内容について局よりご指摘をいただいた点があったので4の評価とした(藤沢分館)	紹介した本の予約が増えないことも多かったため、今後研究したい(本館) 放送される時間帯(昼食時間)に配慮し、紹介する本の選別をしたい(藤沢分館)	4.1	FMラジオ、普段は聞いていませんが、たまたま聞いたときに幼児向けの本の紹介をしていました 丁寧に紹介されていたので聞き入ってしまったことがありました(だいぶ前のこと) 紹介した本の予約が増えないそうですが、図書館だよりの3ヶ月毎の発行なので読んだタイミング、又ラジオでは聞き流してしまうことが多いかもしれない

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	各種メディアや広報紙等を活用し、図書館情報の発信や事業の実施状況を発信する	23 CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	8回	12回	150.00%	4	開催予定の事業情報は事前に伝え、取材の際はインタビューなど協力をしているため5の評価とした(西武分館) 昨年度よりも1回少なかったため4の評価とした(藤沢分館)	出演目標は6回としていたが、他課との調整により4回になったので、今後も出演回数の確保に努めたい(本館)	4.2	実際の放映を見る機会がないので申し訳ないが、取材協力など積極的に行っており、達成率も良いので5と評価
	分館の指定管理者による効果的な管理運営とサービスの向上を監督する	24 指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2回	2回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		25 指定管理者の人件費や労働条件等の確認	実施回数	3回	3回	100.00%	5	予定通り実施できたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
	図書館運営を自己評価し、図書館協議会の外部評価を受けた後、市民に公表する	26 図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	評価と公表の実施	1回	1回	100.00%	5	予定通り実施できたため	図書館協議会の外部評価をいただいた後の公表となるため、平成30年度分は8月頃の公表を目指したい	5.0	(意見はありませんでした)

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
2-1 家庭・地域の教育 力の向上	学校図書館や学校図 書館ボランティアと連携 協力し、子どもたちの学 習活動及び読書活動を 支援する	1 図書館見学(小学校3 年生)を市内全校で実 施	参加校数	16校	15校	93.75%	5	希望のあった学校には、 全て対応できたため(本館)	都合により、実施しない学 校が見学・利用教室とも1校 づつあったため、今後とも学 校との連携を密に取り、なる べく実施していただけるよう 呼び掛けたい また、事前に作成する生 徒の利用者カードについて 学校との調整が難しく、時間 と手間が掛かってしまったの で、利用者カード発行方法 を改めたい(本館) 引き続き本館との連絡を 密に行い、準備も含めてス ムーズな進行に努め、資料 の貸出に繋がるプログラム を検討したい(藤沢分館)	5.0	学校との連携、交通手段 などを検討して、全校実施し てほしい
		2 図書館利用教室(小 学校2年生)を市内全校 で実施	参加校数	16校	15校	93.75%	5	希望のあった学校には、 全て対応できたため(本館) 利用教室で実施するプロ グラムについて、担当者によ って内容に差がないよう に研修を行ったこと、開催後 には紹介した本を探しに来 館する生徒が多数おり、利 用促進の効果を感じたた め、5の評価とした(藤沢分 館)	都合により、実施しない学 校が見学・利用教室とも1校 づつあったため、今後とも学 校との連携を密に取り、なる べく実施していただけるよう 呼び掛けたい(本館)	5.0	学校との連携を図り、実施 してほしい

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
2-1 家庭・地域の教育 力の向上	学校図書館や学校図書館ボランティアと連携協力し、子どもたちの学習活動及び読書活動を支援する	3 学校図書館ボランティア育成のための研修会を開催	参加者数	80人	48人	60.00%	4	「読み聞かせについて」と「本の修理について」の2回実施したが、参加人数が目標に達しなかったため4とした	参加していない学校もある 但し日程の関係又は過去に受講した参加者が、新しいボランティアに引き継いでいるので、参加する必要が無いという理由があり、必ずしも全校参加するべきではないと考える また、中学校の参加が少ない 盛り沢山の内容のため時間配分が難しい スムーズに進行できるように今後とも努めたい また、内容的に小学校中心になってしまうため、今後は中学校にもより対応するよう努めたい	3.9	朝の読み聞かせのお母さん達は、仕事を持っている方も多く、平日の昼間、研修会に出席が難しい方も多い 本館では、土・日・祝日に読み聞かせを行っており、この「おはなし会」への見学を案内し、勧めることも良いのではないだろうか 新しいボランティアに引き継いでいるから必要ない は疑問 何度も何度も受けた方が 良い
		4 移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8校	8校	100.00%	5	移動図書館車の学校巡回に当たっては、例年どおり配車できたため	移動図書館車の配車時間が合わないことにより、余り利用されない学校があるため、配車時間を一部調整したい	5.0	(意見はありませんでした)

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
2-1 家庭・地域の教育 力の向上	学校図書館や学校図書館ボランティアと連携協力し、子どもたちの学習活動及び読書活動を支援する	5 配本サービスを実施	箇所数	39箇所	33箇所	84.62%	5	目標値には達しないものの、希望のあった団体には全て対応できたので5とした	申請するも、都合により余り利用されない学校もあるため、各団体との連携を密に取り、活用していただけるよう呼び掛けたい	5.0	希望に叶った資料を揃えてお届けするサービスを33ヶ所もされていたとのこと 学校等で必要に応じて資料を届けているとのこと これからも、よろしく願います
	市民生活の中での読書活動の重要性を伝える事業や親子の読書活動のきっかけづくりとなるような事業を庁内各課と協力して実施する	6 ブックスタート事業実施に向けて庁内連携会議を開催	会議開催実績	1回	0回	0.00%	1	予算が確保できず、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため1とした	引き続き、予算確保に努めたい	1.0	軌道に乗ってきたので重要視されていないのかもしれませんが、BCG接種時のみもって保護者に伝えたいのなら庁内で話しあってほしい BCG接種後の5分程の待ち時間ではなく、もう少し違うタイミングで行うことはできないか みんな早く帰りたい気持ち一杯で聞いていないように感じた(例:2才の歯科検診で歯の本を読む、紙芝居を提供するなど)

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価	
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題
2-1 家庭・地域の教育 力の向上	市民生活の中での読 書活動の重要性を伝える 事業や親子の読書活 動のきっかけづくりとな るような事業を庁内各 課と協力して実施する	7 全庁的な子育て支援 策の一つとしてブックス タート関連事業を実施	年間実施回数	12回	12回	100.00%	5	目標通り実施できている ので5とした 本館職員と分館職員で連 携を取り、どの回も同じ内容 で実施できている	目標回数は12回だが、こ れはBCGの接種回数である この機会を利用して行っ ているため、内容的には、沢 山の赤ちゃんと保護者に話 したいが、これ以上増やす ことは不可能であるため、 現状を維持していく	4.8	ブックスタートとても喜んで いる親子にめぐりあいまし た
		8 庁内関係課との連携 事業を実施	事業実施数	7事業	9事業	128.57%	5	目標の7回「子育てフェス ティバル」「入間市平和祈念 展」「入間市環境フェア」「ノ ンビリこそだてひろばまつ り」「夏休み子ども文章のつ づり方教室」、「思い出のこ しプロジェクト」「生涯学習 フェスティバル」の他に「ママ カフェ」「入間市自然展」にも 協力実施できたので5とした	現状を維持していく	5.0	ジャンルの違う事業と連携 できています 続行してください 児童センターとも連携を期 待します
	ボランティア団体と協 力して利用促進につな がる事業を実施すると ともに、ボランティア団 体の育成、支援の場と する	9 「おとなのための朗読 会」を開催(西武分館 共催:小函の会)	年間実施回数	1回	1回	100.00%	5	例年好評であり、参加人 数も予定より多いため5の評 価とした(西武分館)	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)
		10 「古典朗読会」を開催 (藤沢分館 共催:古典 の会)	年間実施回数	10回	12回	120.00%	4	ボランティアグループと調 整し、新たにポスターやチ ラシ等を作成したことで間 合せは増加したが、参加者 数は若干減少したため4の 評価とした(藤沢分館)	これまで主に担当していた ボランティアメンバーが抜 けたため、演目内容に変更 があったことで、リピーター の減少に繋がったと思われ る 今後はボランティアグル ープとの打合せを通して内 容の工夫等を検討し、新規 利用の促進を図りたい(藤 沢分館)	4.1	努力されているのに減少 とは残念です

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価			
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題		
2-1	家庭・地域の教育 力の向上	ボランティア団体と協 力して利用促進につな がる事業を実施すると ともに、ボランティア団 体の育成、支援の場と する	11	「公民館との共催事 業」を開催	実施事業数	4事業	5事業	125.00%	4	企画から公民館と協力す ることができた サマーキッズ教室は受付 初日で定員が満了する人気 事業であることや、以前より 地域の方から要望があった 一般向けの映画会も実施で きたが、サマーキッズ教室 の受付や、一般向け映画会 の休憩時間中の対応に準 備不足があったと感じたた め4の評価とした(藤沢分 館)	共催事業実施時の役割分 担をしっかりと調整し、準備 していくよう努めたい(藤沢 分館)	4.1	公民館と図書館、敷地が 同じですと打ち合わせ等も 容易、共催事業が増えると 良い

3 図書館施設の整備													
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	事業目標(数 値目標)	事業実績	達成率	自己評価			外部評価			
							事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の 方向性)	事業評価 点数	事業評価の主な理由及び 課題		
3-1 図書館網の整備	図書館情報ネットワークシステムの安定的な運用に努める	1 図書館システムの安定的に運用(事故回数をゼロとする)	システムダウン回数	0回	0回	100.00%	5	サーバーダウンは起きなかったので5とした 細かな障害についても減少傾向にある 業者側と図書館側によるシステム定例会も本来は隔月だが、毎月実施できた	利用者へ影響が出る不具合が新たに見つかることがあるので、事前の検証と迅速な対応を心掛けたい	5.0	(意見はありませんでした)		
	ダイヤ4市及び青梅市との利用促進につながる広域サービス利用者数の増加を目指す	2 ダイヤ4市との相互利用促進	相互利用者数	37,900人	36,981人	97.58%	4	目標値に達成しなかったが、前年度比で増加しているため4とした	相互利用についてのPRを図りたい	4.1	(意見はありませんでした)		
		3 青梅市との相互利用促進	相互利用者数	100人	109人	109.00%	5	目標値に達成し、前年度比と同程度の利用を維持しているため5とした	相互利用についてのPRを図りたい	5.0	(意見はありませんでした)		
	埼玉県西部地域まちづくり協議会図書館部会での情報交換に努め、市民への公平・平等な広域サービスの提供に努める	4 西部地域まちづくり協議会(図書館部会)への出席	年間会議出席回数	3回	3回	100.00%	5	西部地域まちづくり協議会において、予定通り図書館運営の調査・研究がされたため	現状を維持していく	5.0	(意見はありませんでした)		
3-2 図書館施設の計画的な整備	施設設備の計画的な整備により、市民に快適な読書環境の提供を行い、施設に対する市民満足度を向上し、公共施設としての最適化を進める	5 本館の館内設備の充実を図る	実施件数	2件	3件	150.00%	5	DVD棚の増設、図書等持ち運び用ショップかごの新設、閲覧席衝立の新設ができたため	引き続き、館内設備の更新に努めたい	5.0	(意見はありませんでした)		
		6 分館の館内設備の充実を図る	実施件数	1件	1件	100.00%	5	西武分館受水槽ポンプの更新ができたため 映画会コーナーの展示箇所を新設して、ウィークエンドシネマへの誘導を図るようにした(西武分館) カーテンクリーニング・認知症コーナー新設・グリーンカーテン設置・YAコーナー棚増設・郷土資料充実を実施した(金子分館) 試験前土日の閲覧席混雑緩和のため臨時学習室を公民館会議室を利用して開設、590番台の書架に小型の棚を増設した(藤沢分館)	引き続き、館内設備の更新に努めたい	5.0	配本所に幼児向けの本も増えていますが、幼児も連れて行きたくならないソファーなり、椅子なり工夫を望む 図書等持ち運びショップかご、設置できると良い		